



第 35 号
2011 年 10 月 20 日



埼玉県合唱連盟
〒330-8557 さいたま市浦和区常盤4-12-13
(朝日新聞さいたま総局内)
TEL 048-824-8161
FAX 048-831-5310
<http://saicl.net/>



埼玉県合唱連盟理事長
北 川 裕

平成23年4月29日(金)、宮寺前理事長が御勇退され、その後任といたしまして、第5代埼玉県合唱連盟理事長に就任いたしました北川裕でございます。

さて、過日開催されました県合唱コンクール高等学校の部におきまして、規程の解釈ミスによりまして、関東大会推薦団体を誤って発表し、後日それを訂正させていただきました。このことにより、熊谷女子高等学校及び不動岡高等学校の関係者はじめたくさんの方々にご迷惑とご心労をおかけしたことに対しまして、衷心よりお詫び申し上げます。今後このような事態が生じないよう、再発防止に万全の体制をとって臨む所存でございます。

375団体という道府県では全国一の加盟団体数を誇る埼玉県合唱連盟の円滑な運営を行っていくことは、私にとりまして、極めて重責でございます。皆様方のご支援・ご協力をいただきまして、埼玉県合唱連盟が更なる発展を遂げますよう、微力ではありますが全力を尽くす決意でございます。よろしくお願い申し上げます。



朝日新聞さいたま総局長
佐 藤 泰

大好きな映画があります。約30年前のフランス映画「ディーバ」です。

「ベティ・ブルー」などで知られるジャン・ジャック・ベネックス監督の出世作となったこの映画では、「ディーバ(女神)」の愛称で親しまれる黒人の女性オペラ歌手が、大きな役割を担います。

この歌手は生の歌声にこだわり、一枚のレコード録音も許しません。しかし、熱心なファンである郵便配達少年が、あるコンサートの会場でひそかに歌声を録音してしまいます。その録音テープを略奪しようとするアジア系ギャングと、別な犯罪組織の策謀が複雑に絡み合っており、すばらしいサスペンス映画になりました。

ストーリーも抜群におもしろいこの映画。圧巻はやはりディーバの歌声です。劇中で幾度となく流れるその歌声が、映画そのものの魅力を何倍にも増幅しています。

考えてみれば、映画と歌声は切っても切れない関係にあります。ミュージカルは言うに及ばず。一般の映画でも、劇中で流れる歌のすばらしさが、作品の評価を高める例は無数にあります。歌の持つ力の大きさを改めて実感しますね。

着任のあいさつ

第 56 回

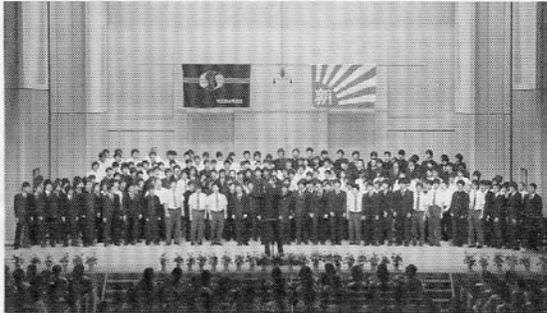
埼玉県合唱祭

～歌の力を復興の力に！～

2011年6月4日(土)・5日(日) 於 埼玉会館

11日(土)・12日(日) 於 さいたま市文化センター

19日(日) 於 熊谷文化創造館



東日本大震災で被災され、被害を受けられた方々に心からお見舞い申し上げます。

3月に起こった未曾有の大災害の影響を受け、埼玉県でも練習場の確保などハード的な側面はもとより、心理的にも平常心を保つ事がとても難しく、大変ご苦労された合唱団も多かったのではないのでしょうか。

そのような中、開催日程、さらには参加団体数までも、例年と変わらぬ規模で第56回埼玉県合唱祭が開催できたことに対し、関係された皆さまに心から厚くお礼申し上げます。

また、出演者の皆さんの華やかなステージ、そして周到的準備・スムーズな進行の裏には、合唱連盟理事の諸氏をはじめとして、当日係員としてお手伝いいただいた各合唱団のメンバーの方々の深いご理解とご協力の支えがありました。

ここに深く感謝申し上げます。

さて、今年の合唱祭ではいくつかの目玉を用意しました。

1つ目は、講師として作曲家佐藤眞先生を全日程にお迎えしたことです。佐藤先生は「カンタータ 土の歌(大地讃頌が特に有名ですね。)」をはじめとして、非常に多くの合唱曲を作曲されている大作曲家です。埼玉県にも非常にゆかりが深く、皆さんご存じの通り、我が埼玉県合唱連盟の「連盟歌」も佐藤先生の編曲です。

2つ目も佐藤先生にリンクしますが、2年前に出演した「埼玉県高等学校合同男声合唱団」の演奏にヒントを得て始めた、第1部と第2部の間に行う「合同合唱」です。今年は全日程にそれぞれ「女声合唱」「男声合唱」「混声合唱」を振り分けて行いましたが、混声合唱の日の曲目は「大地讃頌」。なんと、佐藤先生自ら指揮を振っていただき、演奏するという貴重な機会となりました。先生の熱い棒に合唱団も熱演で応え、会場はブラボーの嵐。大変な盛り上がりを見せました。

そして3つ目は、このたびの大震災で被災され、加須市に避難している福島県双葉町の皆さまを、第5日の熊谷会場へご招待したことです。当日は12名の皆さんがお越しになり、昼食を摂っていただいた後、第2部の演奏を楽しんでいただきました。はなはだ微力ではありますが、埼玉県の合唱が復興への活力になっていただけたらとても嬉しく思います。

今年の合唱祭を通して、あらためて埼玉県の底力を感じました。今後も会員の皆様のご理解とご協力をいただきながら、より良く、そしてパワフルな合唱祭の運営に努めてまいりたいと思います。

(常務理事 石山 明)

県立秩父農工科学高校コーラス部

顧問 遠山 ちひろ

出会い

私が秩父農工科学高等学校に赴任し、コーラス部の顧問となり2年がたちました。本校コーラス部は、私が赴任するまで長く指導者がおらず、練習の成果を発表する機会も文化祭のみという状態でした。何もかも一からはじめるような状態で、顧問である私も手探りで練習を進めてきました。そのコーラス部に、昨年も今年も多く1年生が入部してくれました。だんだんと歌う喜びを見だし、もっとがんばりたいという生徒たちの思いもあり、今年度から埼玉県合唱連盟に加盟することを決めました。

そして今回、埼玉県合唱祭に初参加。生徒たちにとっては、舞台上立って大勢の人の前で歌うことはもちろん、こんなに多くの合唱団の演奏を聴くことも初めてでしたので、非常にいい刺激になったようです。演奏を聴いた生徒たちから、「この曲を歌ってみたい」と言われた時には、私自身とてもうれしく感じました。

まだまだ始まったばかりの部ですので、伸びしろはたくさんある、と感じています。生徒たちが歌を歌うことを通して様々な経験をし、すばらしい演奏と出会い、たくさん感動して、多くのことを学び、人間的にも成長してもらえるよう、これからも精進していきたいと思います。



女声合唱「茜」

代表 多賀谷 八千代

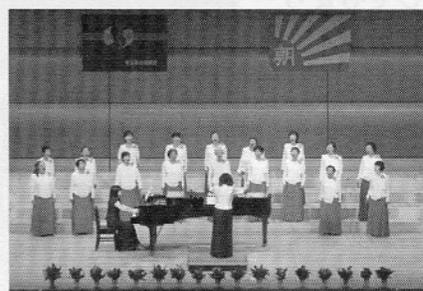
思いがけない 理事の言葉に舞い上がる

女声合唱「茜」は今年初めて埼玉県合唱祭に参加しました。当日は、会場のこと、出演までの流れ等不安でしたが、係りの方々の助けで安心して動けました。特に高校生の皆さんの支えに気持ちもなごみました。

歌い終わってステージを降り、横ロビーで次の団体が終わるのを待っていると、理事をされている中学校の先生が『「今日もひとつ」感動しました！』とわざわざ伝えに来てくださいました。思いがけない言葉にわたしたちは気持ちが舞い上がる様でした。

CDが届き練習日に聴きました。最初は「何とか歌えたね。」と満足していましたが、2回目になると「声がそろってないね。」「音が下がってしまった。」「言葉とリズムがあってないな。」とかあちこち気になり出しました。長い時間練習したのに、うまくいかないものです。

「でも、皆さんの一生懸命さは伝わってくるわよ。」飯浦先生の一言にみんな頷きました。そう、一生懸命歌いました。感動してくださった理事の先生も、一生懸命さをうけとめてくださったのだと思いました。



深谷市少年少女合唱団

事務局 福地 由美

初めての埼玉県合唱祭を 終えて

私達深谷市少年少女合唱団は、結成半年で初めて埼玉県合唱祭に参加しました。団員達は、さくらめいと「太陽のホール」に到着早々、舞台の大きさと、大勢の合唱の先輩方に圧倒されたのか、非常に緊張したようです。

曲は「この星に生まれて」と「Believe」の二曲。両曲ともメッセージ性が強く、特に「Believe」は人を励ます曲。当日いらしていた双葉町の方々をはじめ、多くの人に元気を出してもらえるように心をこめて歌いましょうと、この曲の指導・指揮にあたった北川裕先生は団員たちに伝えてきました。団員たちも理解したようで、この曲を歌う時には優しく、けれど一生懸命に言葉を届けようという姿勢で歌えるようになりました。

講評でも、子供たちの雰囲気の良いさやのびやかな声、そして自然に曲にのっている様子などをほめていただきました。

大きな舞台での演奏は団員達の糧になり、少し成長したように感じます。貴重な経験をさせて頂き、ありがとうございました。



撮影：スタッフ・テス(株)

第 34 回 全日本おかあさんコーラス関東支部大会

2011年7月16日(土)・17日(日) 於：栃木県／宇都宮市文化会館

【 選 考 結 果 】

第1日目

コール・マーガレット	大会賞
ド マ ー ニ	優良賞
グ ラ ツ ィ オ ー ソ	大会賞
Tea Time コーラス	大会賞
ポ モ ド ー 口	大会賞
Ladies Choir 潮の音	優秀賞

第2日目

与野アンサンブル・ソアーヴェ	大会賞
蕨 女 声 合 唱 団	優良賞
m e l l o w コ ー ル	大会賞
浦 和 女 声 合 唱 団	優秀賞
女 声 コ ー ラ ス 秋 桜	大会賞
女 声 コ ー ラ ス 「 秀 麗 」	大会賞
浦 和 ブ ル ー コ ー ラ ス	大会賞

浦和女声合唱団

団員 渡 辺 尚 代

皆で集うことのできる幸せに感謝

7月17日早朝、団員40余名は熱中症予防のペットボトルを抱え、宇都宮へ出発しました。

今回の演奏曲目は、女声合唱とピアノのための「三つの詩編」(松下耕 作曲)から、「主は私の羊飼い」を選びました。緑豊かな文化会館で、静かな熱気につつまれながら、32番、いよいよ私達の出番となりました。

前奏の美しいピアノに、この素晴らしい曲と出会ってからの日々が思い出されました。昨年7月、松下耕先生をお迎えしての「舩の会」(岸信介 主宰)演奏会での初演のこと。10月、一関の「東日本合唱祭」に招かれて、東北の方々との温かな交流、全校生徒30名ほどの中学校で一緒に歌った楽しいひととき。そして今年3月の、思いもかけぬ大災害。

突然天に召された命、様々な形での別れ、悲しみ……それらにあわれた方々の心に少しでも安らぎが訪れますようにと祈りながら、そしてまた、ここに皆で集うことのできる幸せに感謝しつつ、団員心ひとつにして歌わせていただきました。

「優秀賞」の賞状と楯をいただき、全員無事に帰宅につきました。猛暑の中、ご準備、お世話くださいました大会関係者の皆様に、心より御礼申し上げます。



撮影：(株)フォトライフ

第 34 回

全日本おかあさんコーラス全国大会

2011年8月27日(土)・28日(日) 於：福岡県/アクロス福岡シンフォニーホール

Ladies Choir 潮の音

代表 内田 洋子

より一層心に届く歌を・・・

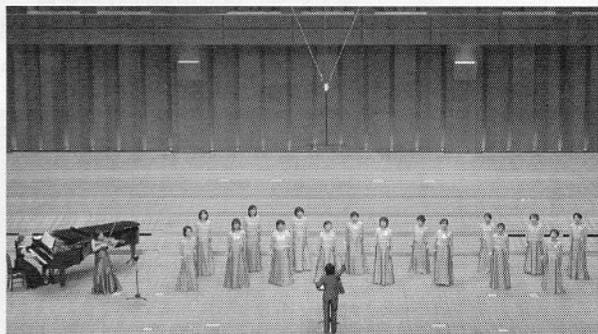
〈Anthology〉^{アンソロジー}と言う初めての委嘱曲と出会ってから、私達のおかあさんコーラス全国大会への挑戦が始まりました。初ノミネートにもかかわらず関東大会から全国大会へと進めたのには、何か運命的なものさを感じたものです。

期待と不安を胸にステージにたった私達を、アクロス福岡シンフォニーホールはその落ち着いた木の内装と同じように、優しく包み、歌声を心地よく響かせてくれました。小さな〈一面菜の花〉で始まる世界から、終曲の無限の宇宙の広がりをも体感出来たのも、このホールのおかげだと思います。誕生に立ち会い、我が子のように慈しみ育ててきた曲を、このような晴れ舞台で表現できた幸せに感謝いたします。

全国規模の大会とあって、他団体の演奏も素晴らしく、音楽作りでも吸収させて頂く事が沢山ありました。また、私達が苦手なパフォーマンスも、大仕掛けでなくても、手と頭を動かすだけで、あんなにも見事に表現できる！…と言う楽しい発見もありました。

今年は未曾有の災害に見舞われ、歌う事の意義を考えさせられる大会であったと思います。被災地での歌声のボランティアのお話も伺いました。私達もこれを機に、より一層心に届く歌を…との思いを強くしました。

最後に、大会運営にご尽力くださった沢山の皆様に感謝致します。本当に有り難うございました。



撮影：スタッフ・テス(株)

東日本大震災義援金について 感謝！ 180万円の義援金

3月11日の大震災では震源に近い各県の被害は非常に大きく、被災された地域の合唱活動はかなり制限されたものであろうことは容易に想像できました。

そこで埼玉県合唱連盟は、被害の大きかった各県の合唱仲間を支援すべく、義援金に取り組みました。

3月下旬にお知らせしてから6月までに大変多くのご協力があり、182の合唱団・個人から1,782,449円の義援金が連盟に届けられました。

皆様からお預かりしたお金は、青森・茨城・千葉の3県にはそれぞれ7万円。岩手・宮城・福島の3県にはそれぞれ35万円を義援金として各県の合唱連盟に送りました。さらに残りの522,449円は全日本合唱連盟を通じて被災された各県・支部に送られています。

さらに、合唱祭では、受付に「義援金箱」を置いたところ来場者の方から28,866円の義援金をいただきました。こちらは朝日新聞厚生文化事業団に被災地への義援金としてお渡ししました。(その後もいくつかの合唱団から義援金が送られてきています)

本当にたくさんのご協力ありがとうございました。

(事務局長 宮野 善也)

第 54 回

埼玉県合唱コンクール

2011年8月26日(金) 中学校(混声)・中学校(同声)の部

27日(土) 大学の部・高等学校の部

9月4日(日) 小学校の部・彩の国の部・一般の部

於：さいたま市文化センター

酷暑の中、3日間にわたり埼玉県合唱コンクールを実施しました。

ホールの都合により、今年度から金曜日に中学校(混声・同声)となるなど、日程・部門の組み合わせが変わりましたが、3日間で計120団体、3,700名を超えるご参加を頂き、一般の入場者も2,400名を超える数となりました。ご入場の際、チケットの提示をお願いしたり、プログラムをリニューアルしたりなど、少しずつ改変を加えて実施してみました。また、今年度は、東京電力から計画停電の可能性について事前発表があったため、タイムテーブルを2種類作り非常時に備えました。

さて、今回のコンクール高等学校部門においては、大変失礼なミスをしてしまい、関係団体の方々をはじめ



多くの皆様に多大なるご迷惑をおかけしましたことを、心よりお詫び申し上げます。埼玉県合唱連盟コンクール小委員会としても、これを機に全国大会や関東大会の規程等についての理解を深め、県大会実施のあり方について、より一層の検討を重ねていきたいと思っております。課題はまだまだ沢山ありますが、よりよいコンクールを目指して運営改善していく所存です。

(常務理事 小松 直詩)

クラングファルベ

代表 守屋 明美

心も響きもひとつになり...

コンクールはまだ先の目標と思っていた結成3年目の私たちでしたが、宮寺勇先生の薦めで彩の国の部に出演させていただきました。当日は秩父からバスの旅。緊張というよりも楽しい気分のまま時が流れ、初参加にもかかわらずまるで宮寺先生のマエストロマジックに操られるがごとく、心も響きもひとつになり気持ちよく演奏できました。それだけで満足していた私たちに、なんと金賞、そして理事長賞をいただき夢のような一日となりました。今後も今回いただいた賞を汚すことのないよう、努力を重ねていきたいと思っております。末筆になりましたが東日本大震災で被災された方々の復興を願い、私たちの平和の歌声が皆様の心に響きますよう、心よりお祈り申し上げます。



撮影：スタッフ・テス(株)

第54回 埼玉県合唱コンクール審査結果

平成23年8月26日(金) 中学校の部(混声合唱・同声合唱)の部

27日(土) 大学の部・高等学校の部

9月4日(日) 小学校の部・彩の国の部・一般の部

於：さいたま市文化センター

★中学校(混声合唱)の部

【金賞】春日部市立豊春中学校混声合唱団(知事賞)、所沢市立南陵中学校混声合唱団(教育長賞)、春日部市立武里中学校合唱団(埼玉県文化団体連合会賞)、所沢市立三ヶ島中学校合唱団

【銀賞】川口市立北中学校、川越市立川越第一中学校合唱団、所沢市立所沢中学校混声合唱団、所沢市立上山口中学校合唱部

【銅賞】秩父市立秩父第二中学校、上尾市立太平中学校有志合唱団、松伏町立松伏中学校3年有志合唱団、蓮田市立蓮田中学校/平野中学校、小鹿野町立小鹿野中学校音楽部、行田市立見沼中学校合唱部

【優良賞】久喜市立栗橋西中学校有志合唱団(奨励賞)、秩父市立影森中学校合唱団、ふじみ野市立葦原中学校ミュージッククライス、日高市立高根中学校有志合唱団

★中学校(同声合唱)の部

【金賞】所沢市立狭山ヶ丘中学校合唱部(知事賞)、ふじみ野市立大井中学校音楽部(教育長賞)、栄東中学校コーラス部(埼玉県文化団体連合会賞)、秩父市立秩父第一中学校コーラス部、所沢市立向陽中学校コーラス部

【銀賞】春日部市立春日部中学校合唱部、熊谷市立富士見中学校音楽部、川口市立青木中学校コーラス部、蕨市立第一中学校音楽部、加須市立昭和中学校音楽部

【銅賞】深谷市立上柴中学校音楽部、熊谷市立大原中学校合唱部、川口市立西中学校音楽部、加須市立加須西中学校音楽部、熊谷市立熊谷東中学校合唱部

【優良賞】宮代町立須賀中学校合唱部(奨励賞)、久喜市立久喜中学校合唱部、さいたま市立城南中学校合唱団、加須市立騎西中学校音楽部、伊奈町立小針中学校合唱部

★大学の部

【銀賞】埼玉大学合唱団

★高等学校の部

【金賞】県立浦和高校グリーンクラブ(知事賞)、久喜高校音楽部(教育長賞)、熊谷高校音楽部(埼玉県文化団体連合会賞)、県立川越高校音楽部、大宮高校音楽部、慶應義塾志木高校ワグネル・ソサイエティー男声合唱団、松山女子高校音楽部、熊谷女子高校音楽部

【銀賞】小松原高校音楽部、不動岡高校音楽部、埼玉栄高校コーラス部、大宮光陵高校合唱団、芸術総合高校合唱部、伊奈学園総合高校音楽部、栄東高校コーラス部、秩父高校音楽部、川越女子高校音楽部

【銅賞】川越南高校音楽部、所沢北高校音楽部、さいたま市立浦和南高校音楽部、坂戸西高校音楽部、小松原女子高校合唱部、大宮開成中学高校コーラス部、春日部共栄中学高校合唱部、熊谷西高校合唱部

【優良賞】秋草学園高校音楽部(奨励賞)、花咲徳栄高校コーラス部、蕨高校音楽部、春日部女子高校音楽部、岩槻高校合唱部、川口北高校コーラス部、小川高校音楽部、浦和学院高校コーラス部 GLANZ

【シード】松伏高校合唱部、浦和第一女子高校音楽部、星野高校音楽部

★小学校の部

【金賞】さいたま市立海老沼小学校合唱部、川口市立並木小学校白百合合唱団

【銀賞】久喜市立久喜東小学校 さくらっ子合唱団

【銅賞】川越市立高階小学校

★彩の国の部

【金賞】クラングファルベ(理事長賞)、M☆Girls、コール・ドルチェ、ancora!、川口市立川口総合高校音楽部

【銀賞】星の子合唱団、所沢フィニッシュ少年少女合唱団(彩の国特別賞)、春日部ジュニアコーラス(彩の国特別賞)、やまとなでこ、与野アンサンブル・ソアーヴェ

【銅賞】浦和北高校音楽部、大宮コール・ヴァイオレット、寄居城北高校コーラス部、川口市立泉陽高校音楽部、久喜北陽高校コーラス部

【優良賞】羽生第一高校コーラス部、浦和実業学園高校合唱部、La Passione、上尾南高校音楽部、誠和福祉高校コーラス部、妻沼高校合唱部

★一般の部

【金賞】クール・ヴァン・ヴェール(知事賞)、Wings(教育長賞)、La Mer(埼玉県文化団体連合会賞)、合唱団 amore、Vive la Compagnie

【銀賞】混声合唱団 川越牧声会、Paradise Relax、Raison detre、小松原OB合唱団「ピエロ」、浦和混声合唱団

【銅賞】合唱団「あべ犬東」、女声合唱団 悠 はるか、Chor Kraut、所沢メンネルコール、混声合唱団 獅子

【優良賞】ラ・シレーヌ(奨励賞)、名前のない合唱団、T-Croce、コーラル・デイジー、浦和ブルーコーラス

全日本理事長賞 春日部市立豊春中学校混声合唱団

下線の団体は関東支部大会への代表

彩の国男声コーラスフェスティバル2011

2011年10月1日（土） 於：秩父ミュージックパーク音楽堂・野外ステージ

毎年、秩父の美しい山々に響き渡る力強い歌声を楽しみにしているのは、私だけではないと思います。他の行事では味わうことのできない男声合唱の魅力を感じられるこのフェスティバルに、今年は19団体のご参加をいただきました。

1部では実力ある合唱団による熱演がくりひろげられました。女声合唱ではコーラル・デイジーが美しい歌声で華を添えてくださいました。また、今年は秩父市長久喜邦康様より、温かい応援のメッセージをいただき、会場も大変盛り上がりました。心から感謝いたします。ありがとうございました。

2部の野外ステージでの合唱は、澄みきった美しい空気の中、毎年盛り上がります。今年は秩父B級グルメで今注目を浴びている味噌ポテト、おきりこみを加えて、模擬店もさらに賑やかになりました。女性による人気投票No.1は、Chichibu Mikado Singersに決定し、2部でも素晴らしい演奏を聴かせていただきました。

帰り際「今年も楽しかったよ、ありがとう。」と言葉をかけていただき、幸せを感じました。また来年も、皆様に楽しんでいただけるフェスティバルを企画していきたいと考えておりますので、ぜひたくさんの方のご参加をお待ちしております。

最後に、出演者をはじめ関係者の皆様に心から感謝申し上げます。

(常務理事 大館 直美)



30周年

コーラル・クローバー
代表 村田 二三子

歌う喜びに溢れて…



コーラル・クローバーは1981年に誕生しました。'83年より毎年、埼玉県合唱祭と春日部市民合唱祭に参加を続けています。県コンクールでは銀・銅賞を受賞し、おかあさんコーラス大会では全国大会に二度出演する機会にも恵まれました。2003年には日本・ルーマニア修好100周年記念でユネスコ音楽学校の学生達とジョイントコンサート。2008年の大岩篤郎還暦記念コンサートではオーケストラ伴奏と9団体での「第九」に挑み、同年10月にはイタリアのマドンナ・デ・オルモ教会でティエネ市合唱協会合唱団とジョイントコンサート。2010年にはウィーン楽友協会のステージに立つ機会にも恵まれ、多忙な中にも幸せな体験をしました。

今年は春日部高校音楽ホールでの創立30周年記念演奏会に向けて特訓中です。朝のさわやかな光の中、関根先生のピアノの音が流れ、歌声が静かに流れる中、大岩先生の「ここはドルチェ甘く、アジタート激しく！」の指揮と共に、大きくなったり小さくなったりと声が広がって3つの音、三葉のクローバーが心も一つになり、歌う喜びに溢れて四葉のクローバーとなって素晴らしい仲間と共に、これからも歌い続けていきます。

＊＊＊＊＊ **それぞれの周年記念** ＊＊＊＊＊

**15周年**

コーロ・フェリチエ
代表 嶋田 光子

感激そして感謝
15周年記念コンサート

“のぼれ のぼりゆけ おーおー”十五周年記念コンサートの最後の曲「水のいのち」が歌い終わりました。写真はコンサートのすべてを歌い上げ、感極まった団員の顔、顔、顔です。プログラムは第1部「きんもくせいのさくころ」全曲、第2部「ベスト・オブ・ルロイ・アンダーソン」のスキヤットより4曲、第3部小川明子先生のアルト独唱や香取先生と栗栖先生によるピアノ連弾、そして第4部「水のいのち」全曲でした。こんなにたくさんの内容を会場いっぱいのお客様に聴いていただいたのです。

この日のために二年半くらい練習を積みました。指導者の小川明子先生は言葉を大切に、それぞれの曲が団員にイメージできるように分かりやすく教えて下さいました。また、団員は合唱が大好きだけでなく、人生経験豊かな人が揃っており、曲をそれぞれに自分なりに受けとめ表現していました。ですから、本番では自信をもって練習の成果を発揮できたように思います。この日のためにたくさんの方々からご支援・ご協力を頂き、団員が1つになってコンサートを成し終えることができたことは、感激そして感謝です。

Tact vol.12



指揮者 岸 信介

合唱と私

埼玉から都内へ、都内から埼玉へ、荒川の鉄橋を幾度行き来しただろう。春の煌めく川面、夏草萌える川原、秋、真っ赤な夕日、木枯らしの冬、何歳になっても故郷浦和はほっとする場所です。故萩原英彦先生が「岸さんは自然児」と何かに書いて下さった事がありました。合唱の世界に身を置き、好きな事を続けて来られたのも、埼玉の自然や人々に育てて頂いたからかもしれません。

幼い頃は野球やサッカーに明け暮れる子供でした。浦和西高の時バレー部員だった私に合唱部から声が掛かり、それが今に至っているのですから不思議なものです。当時県のコンクールは川越高校と浦和一女が双璧で我が校は万年3位。私が部長の年に2位になった時は本当に

嬉しく今でも鮮明に音が甦ってきます。合唱部顧問の先生が発足間もない“浦和混声”を指導されていたので私も高校生ながら入団し、自分の将来を方向付けたのもこの頃です。音大受験では金子一雄、ツネ子先生には本当にお世話になりました。ツネ子先生の伴奏で“毎日音楽コンクール”に出演し九段会館で賞を頂いたのは声楽科受験の励みになりました。また浦混はその後指揮者として30余年を共に歩んでいますし、団の創立当初からおられる村田充氏は兄とも^{たの}持む存在です。

音大からプロ合唱団の十数年は、多くの一流の音楽家作曲家やステージに恵まれ、沢山の出会いの中で教えられる事の多い時代でした。音大では高田三郎先生、日本合唱協会では山田一雄、秋山和慶、若杉弘先生から音楽の真髄を教えられました。イタリーオペラの引越公演ではマリオ・デル・モナコやシミオナートの圧倒的な美声と存在感と同じ舞台上で合唱し、第九ではカラヤン、小澤征爾・・・。プロ合唱連合（NHK放送合唱団・東京混声・日本合唱協会・二期会合唱団）で栗山文昭氏と一緒に歌ったのも懐かしい思い出です。一方でTV出演、CMソング、紅白や演奏旅行、レコード録音等、昭和という時代の空気もありますが多様な仕事に恵まれ夢中で歌っていた時代でした。

その後指揮者として幾つかの合唱団に携わり今に至っています。主宰する“舩の会”は30年を越えました。近年は新作の委嘱初演を柱として今後も合唱の世界に寄与できればと思っています。山田先生の教え「一音百態」を原点として…。（順不同・敬称略）

SAITAMAコーラスワークショップ2011のご案内

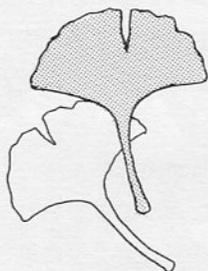
作曲家の木下牧子先生を講師にお迎えします！

- ★日 時 平成23年11月27日（日） 10：30～16：00
- ★会 場 上尾市文化センター（JR上尾駅下車 東口より徒歩15分）

木下先生から作品にまつわるエピソード、演奏にあたってのポイントなどいろいろなお話を伺いながら作品をみなさんと歌いましょう。

当日の日程

10：30～12：00	開会式 講座A（男声向け） 「虹・隕石」
13：00～14：00	講座B（中学生向け） 「春に」
13：00～14：00	ジュニア事前練習
14：15～15：55	講座C（全部門向け） 「さびしいカシの木」 「ロマンチストの豚」 「サッカーによせて」 *ジュニア部門プチ講座を中で行います。
15：55～16：00	閉会式



※ 講座Cはどなたでもご参加いただけます。（楽譜は混声版または女声版を使用いたします）
 ※ 楽譜については、各自ご用意ください。著作権の関係からコピー楽譜でのご参加はご遠慮ください。

平成23年度 役員組織

理事長	北川 裕		
副理事長	新祖 章	浅井 一郎	小野瀬 照夫
事務局長	宮野 善也		
事務局次長	三沢 豊		
常務理事	國弘 雅也 (講習会)	石山 明 (合唱祭)	
	小松 直詩 (コンクール)	大館 直美 (おとうさん)	
	蓮沼 喜文 (S V E C)	小島 嘉子 (おかあさん)	

新理事紹介



大熊 俊之

中学に入って初めて聴いた混声合唱の迫力。これが合唱との出逢いでした。以降何度も足を洗おう(?)としたものの、気がつけば人生の約半分を合唱と共に過ごしています。こんな私ですがどうぞ宜しくお願い致します。



南 めぐみ

新理事の南めぐみです。若い頃から合唱一筋です。その間たくさんの挫折とほんの少しの喜び。私の所属合唱団の指揮者の言葉です。「音楽はずっとつらい、それでも立ち向かえ」と。実感しませんか。そうやって頑張っているみなさんのお手伝いをしたいと思っています。



持田みどい

今年度より理事を務めさせていただく事になりました持田です。合唱祭やコンクールの準備等お仕事を覚える事で一杯一杯な半年でしたが、皆さんに舞台上で心地良く演奏していただける様頑張っていきたいと思ひます。



吉川 誠二

まだまだ不慣れで右も左もわからない状態ですが、埼玉の合唱がより良いものになるよう、微力ながら頑張らせていただきたく思っております。どうぞよろしくお願い致します。

♪ 私たちの場所 Stage

Chor Kraut

代表 大熊 俊之 ☆

コールクラウトは岡留昭氏先生から薫陶を受けた不動岡高校音楽部の卒業生を中心に、ちょうど10年前に結成されました。「かつての仲間ととにかく楽しみたい!」とスタートしてから、コンクール等への参加やコンサートの開催、それに向けての合宿練習、そして、その後待っている“宴”を思い浮かべながら、合唱の合間に酒? 酒の合間に合唱……? そんな10年間でした。この間、メンバーも随分様変わりし、現在では不動岡高校卒以外の方も在籍するようになっていますが、結成以来毎週土曜日夜、加須市大桑公民館にてずっと練習に励んでいます。少人数で派手さはありませんが、素朴な私たちにしかできない演奏を目指して今後も精進してまいります。



鶴ヶ島混声合唱団「ステラ」

副代表 高沢 通 ☆

鶴ヶ島混声合唱団「ステラ」は、今年で結成16年目を迎えます。4名でスタートしたメンバーも現在23名となっています。

9年前、指導者に小高秀一先生をお迎えでき、主に日曜日の午前中を練習日として活動しています。小高先生の暖かいご指導と、練習を補う形で細野啓子先生にピアノ伴奏と音取りなどのレッスンをいただいています。最近では、混声合唱組曲の高田三郎「心の四季」、佐藤眞「旅」、團伊玖磨「筑後川」、大中恩「秋の女よ」等、組曲を中心に組み、ファミリーコンサートの開催(過去2回)や、鶴ヶ島市合唱祭(連続15回)、埼玉県合唱祭(連続9回)に参加しています。



伊奈町立小針中学校

顧問 大木 まみこ ☆

平成22年4月に創部した新しい部です。2年生35人が中心となり、1年生14人、3年生3人の計52人で楽しく活動しています。男子部員が2名と少ないので、もっと入部してくれたらうれしいです。

昨年一年間、各種コンクール出演はもちろんですが、地域のイベントや、老人ホーム、保育園などでの演奏活動を盛んにおこなってきました。その成果もあり、今年に入り、演奏依頼なども続々と入るようになってきました。

まだまだ未熟な2年目ですが、さわやかで清潔感のある歌声を目指し、聴いている方に笑顔で楽しんでもらえるように、たくさん練習して、今年もたくさんの演奏機会を持ちたいと思います。



県立妻沼高等学校合唱部

顧問 小澤 照恵 ☆

3年前には、全く口を開かなかった生徒達。このような状態から何とか脱出しなければ・・・と毎日昼休みに音楽室で独り、合唱曲の練習を始めました。徐々におそろおそろ音楽室をのぞく生徒が増え、一緒に口ずさむようになり、少しずつ声も出てきました。2年目には何とか歌声らしくなり、3年目には、生徒の方から「歌いたい!!」という声を聞くことができました。その気持ちが本当に嬉しく、とても大切にしたいと思い、合唱部を立ち上げました。

練習を重ねる中、人数の激減等、崩れてしまいそうな時もありましたが、コンクールに出演することを目標に頑張ってきました。どうぞ宜しくお願い致します。



編集 後記

大震災によるホールの損壊等で合唱活動に支障が出ています。大災害を前に合唱を通じて何ができるでしょうか。多くの募金も頂きましたが、さらに継続した支援が求められています。一日も早い復興をお祈り致します。

(加藤 良一)



一生愛せる住まいをつくる。

ボラスの住まいづくりでは、耐震性や快適性などを配慮した様々な実験を日々行っています。耐震性を高めるために、骨組みや金具を自社開発するなど、ボラスは見えないところにも力を注ぎます。

住むほどに、良さがわかってくる。そんな、一生愛せる住まいを、ボラスはつくり続けます。

住まい価値創造企業
POLUS
ボラスグループ

www.polus.co.jp

ボラス

